

解析幾何 期末試験 (平成29年8月7日実施)

[1] 空間のベクトル  $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3)$ ,  $\mathbf{b} = (b_1, b_2, b_3)$ ,  $\mathbf{c} = (c_1, c_2, c_3)$  に対し, スカラー三重積  $[\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}]$  は次のように表されることを示せ:

$$[\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}] = \begin{vmatrix} a_1 & b_1 & c_1 \\ a_2 & b_2 & c_2 \\ a_3 & b_3 & c_3 \end{vmatrix}.$$

[2]  $a, b, c, d$  を定数とし, ベクトル場  $\mathbf{V}$  を次で定める:

$$\mathbf{V}(x, y, z) = (x + ay - 4z, 2x - 4y + bz, cx - 3y + dz).$$

(2-1)  $\mathbf{V}$  がスカラー・ポテンシャルを持つとする.  $a, b, c$  を求めよ.

(2-2)  $\mathbf{V}$  がベクトル・ポテンシャルを持つとする.  $d$  を求めよ.

[3]  $f$  を 1 変数  $t$  のベクトル値関数とする.

(3-1)  $f = |f|$  とおくとき,  $f \cdot f' = ff'$  を示せ.

(3-2) 任意の  $t$  に対し  $f''(t)$  は  $f(t)$  と平行であるとする. このとき  $(f \times f')(t)$  は  $t$  に依らないことを示せ.

[4] ベクトル場  $\mathbf{r}$  を  $\mathbf{r}(x, y, z) = x\mathbf{i} + y\mathbf{j} + z\mathbf{k}$  で定め,  $r = |\mathbf{r}|$  とおく.  $r \neq 0$  を満たす点で  $\nabla \frac{1}{r}$  および  $\Delta \frac{1}{r}$  を求めよ.

[5] 曲線  $p$  を  $p(t) = (2t, -2t, t)$  で定める. また曲線  $p$  の点  $O, A$  を  $O = p(0)$ ,  $A = p(1)$  で定める.

(5-1) スカラー場  $f$  を  $f(x, y, z) = x - y + z$  で定める. 線積分  $\int_O^A f ds$  を求めよ.

(5-2) ベクトル場  $\mathbf{V}$  を  $\mathbf{V}(x, y, z) = (3x, -2y, z)$  で定める. 線積分  $\int_O^A \mathbf{V} \cdot d\mathbf{r}$  を求めよ.

[6]  $D = \{(x, y) \mid x^2 + y^2 \leq 4, y \geq 0\}$  とし,  $C$  を  $D$  の境界とする.  $C$  の向きを,  $D$  を左側に見る方向 (反時計回りの方向) とする. このとき線積分  $\oint_C ((x^2 - y^2)dx + xydy)$  を求めよ.

[7] 空間の点  $(2, 0, 0)$ ,  $(0, 1, 0)$  および  $(0, 0, 2)$  を頂点とする三角形を  $S$  とし,  $S$  の単位法線ベクトルとして第 1 座標が正のものをを用いる.  $C$  を  $S$  の境界とする. このときベクトル場  $\mathbf{V}(x, y, z) = (x, -x + y, z)$  に対し, 線積分  $\oint_C \mathbf{V} \cdot d\mathbf{r}$  を求めよ.

[8]  $D$  を  $D = \{(x, y, z) \mid x^2 + y^2 \leq 1, 0 \leq z \leq 1\}$  とし,  $S$  を  $D$  の境界とする. このとき面積分  $\iint_S (xy^2z dydz - x^2yz dzdx + x^2z^2 dxdy)$  を求めよ.